English

英語のきほん

中学２年生向け

動詞の過去形／接続詞／動名詞／ 不定詞／未来の表現／助動詞／比較級最上級 ほか
定期テスト・受験勉強の補助教材

※本資料は中学２年生で学ぶ内容のうち、基礎的な文法を抜粋し、まとめたものになります。
※「この資料だけで１００点が取れる！」という内容ではありませんが、日々の勉強の予習復習、定期テスト勉強、受験勉強の補助教材としてご活用いただけるように作成しました。
※内容には細心の注意をはらっておりますが手作り教材であるため、誤字や脱字、表現の誤りがある可能性があります。本資料の活用はご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
※学校で教わった内容と資料内の説明が異なるときは、学校の内容を覚えるようにしてください。
※本資料は家庭学習用の教材として公開しております。商用利用はお控えください。

Copyright 2026 マチ塾

Copyright 2026 マチ塾

一般動詞の過去形

「～した」、「～だった」という意味になる

一般動詞の過去形の作り方	原形	過去形
単語の最後にedをつける	play watch want	played watched wanted
eで終わる単語は dをつける	like use live	liked used lived
短母音＋子音字で終わる語は、 最後の文字を重ねてedをつける	stop drop chat	stopped dropped chatted
子音字＋yで終わる単語はyをiに変えて edをつける	study try carry	studied tried carried
不規則な変化	go make take	went made took

Copyright 2026 マチ塾

一般動詞の過去形

＝　～しました

現在形

彼はサッカーをします。　　He plays soccer.

過去の内容に書き換えると…

過去形

肯定文
～です

彼は昨日サッカーをしました。　　He played soccer yesterday.

疑問文
～ですか？

彼は昨日サッカーをしましたか。　　Did he play soccer yesterday?

Yes, he did.
No, he didn't.

否定文
～ではない

彼は昨日サッカーをしませんでした。　　He didn't play soccer yesterday.

Copyright 2026 マチ塾

be動詞の過去形

・am と is → was
・are → were

＝ ～でした / ～にいました

現在形

あなたは幸せです。 You are happy.

過去の内容に書き換えると…

過去形

肯定文
～です

あなたは幸せでした。 You were happy.

疑問文
～ですか？

あなたは幸せでしたか。 Were you happy?

Yes, I was.
No, I wasn't.

否定文
～ではない

あなたは幸せではありませんでした。 You weren't happy.

Copyright 2026 マチ塾

過去進行形

be動詞(過去形)　＋　～ing　＝　～していました

過去形の例文

You　had　dinner.　　あなたは夕食を食べました。

「過去のある時点で食べている最中だった感」を出したいときに
過去進行形　を使います

昨夜７時　あなたは　夕食を食べていました。

肯定文
～です

You　were　having　dinner　at　7　last　night.

昨夜７時　あなたは　夕食を食べていましたか。

疑問文
～ですか？

Were　you　having　dinner　at　7　last　night?　　Yes, I was.
No, I wasn't.

昨夜７時　あなたは　夕食を食べていませんでした。

否定文
～ではない

You　weren't　having　dinner　at　7　last　night.
(were　not)

Copyright 2026 マチ塾

接続詞：when ＋ S ＋ V

＝　SがVするとき

※「when ＋ 主語 ＋ 動詞」で「主語が～するとき」という意味になります
※when節の中では、未来の内容も現在形で表します

私は英語を勉強するとき、私はこのペンを使います。

When I study English, I use this pen.

≒ I use this pen when I study English.

・私が家に帰ったとき、母は夕食を作っていました。

My mother was cooking dinner when I got home.

≒ When I got home, my mother was cooking dinner.

・私は子供のころ、京都に住んでいました。

I lived in Kyoto when I was a child.

・あなたの宿題が終わったら、テレビゲームをしようよ。

When you finish your homework, let's play video games.

※when節の中では、未来の内容も現在形で表します

Copyright 2026 マチ塾

様子を表す動詞：look, sound

＝　～に見える、～に聞こえる

あなたは疲れているように見えます。

You look tired.

その話は面白そうです。（面白そうに聞こえます）

That story sounds interesting.

・このリンゴは美味しそうです。

This apple looks delicious.

・彼はその車を見ます。

He looks at the car.

※「look at ～」で「~を見る」
※「look ~（~に見える）」と「look at ~（~を見る）」は意味が異なるので注意しましょう

・それはいいですね。

That sounds nice.

Copyright 2026 マチ塾

動名詞： ~ing

＝　～すること

※　動詞にingをつけることで、名詞として扱うことができます。
※　動名詞にすると、「～すること」という意味になります。
※　現在進行形「be + ~ing」とは別の意味になるので、区別して覚えましょう。
➡ 現在進行形：　He is playing the piano.
➡動名詞の文：　My hobby is playing the piano.

主語	一般動詞	目的語

私はサッカーを観ることが好きです。

I like watching soccer.

主語	be動詞	補語

私の趣味はピアノを演奏することです。

My hobby is playing the piano.

主語	be動詞	補語

ピアノを演奏することはとても楽しいです。

Playing the piano is very fun.

前置詞	名詞

私はピアノを演奏することが得意です。

I am good at playing the piano.

Copyright 2026 マチ塾

不定詞（名詞的用法）：to ＋ 動詞(原形)

＝　～すること

※　不定詞（名詞的用法）は、名詞として扱うことができます。
※　不定詞（名詞的用法）は、「～すること」という意味になります。
※　不定詞には「名詞的用法」「副詞的用法」「形容詞的用法」があります。
・名詞的用法：　I like to play soccer.
・副詞的用法：　I study English to go abroad.
・形容詞的用法：　I want something to eat.

主語	一般動詞	目的語

私はサッカーを観ることが好きです。

I like to watch soccer.

主語	be動詞	補語

私の夢は英語の先生になることです。

My dream is to be an English teacher.

主語	be動詞	補語

医者になることは難しいです。

To become a doctor is difficult.

動名詞と不定詞の使い分け

＝　動名詞（〜ing）と 不定詞（to ＋ 動詞の原形）
＝　どちらも「〜すること」という意味

※動詞によって、うしろに置ける形（動名詞：〜ing / 不定詞：to ~）が決まっています
※前置詞（at・in・of・about など）のうしろは、動名詞（〜ing）になります

動名詞（〜ing）だけ	→	enjoy, finish, stop, practice, give up　などと　前置詞
不定詞（to ~）だけ	→	want, hope, decide, wish, promise　など
どちらでもよい	→	like, love, begin　など

・私は音楽を聞いて楽しみました。

I enjoyed listening to music.
※ enjoyed to listen とは言えません

・彼は話すのをやめました。

He stopped talking.
※stop to ~ は「〜するために立ち止まる」という別の意味になります

・私は医者になりたいです。

I want to be a doctor.

・私はピアノを弾くのが得意です。

I am good at playing the piano.
※前置詞 at のうしろなので 〜ing になります

Copyright 2026 マチ塾

接続詞：that ＋ S ＋ V

＝　SがVするということ

※　「that ＋ 主語 ＋ 動詞」で「（主語）が（動詞）するということ」という意味になります
※　接続詞のthatは省略することができます

私は、その本が面白いということ　を知っています。

I know (that) the book is interesting.

・私は　彼　を知っています。　　I know him.

・私は　彼が親切だということ　を知っています。　　I know (that) he is kind.

・私は　彼はピアノを弾ける　と思います。　　I think (that) he can play the piano.

・私は　彼は親切だ　と確信しています。　　I am sure (that) he is kind.

Copyright 2026 マチ塾

look forward to ＋ 名詞

＝　～を楽しみにする

私は　夏休み　を楽しみにしています。

I am looking forward to summer vacation.

※　現在進行形の形で使われることが多いです

私は　あなたとサッカーをすること　を楽しみにしています。

I am looking forward to playing soccer with you.

※この to は前置詞なので、後ろに動詞を置く場合は動名詞（~ing）の形にします

・彼は　彼女の誕生日パーティ　を楽しみにしています。

He is looking forward to her birthday party.

・彼は　あなたと働くこと　を楽しみにしています。

He is looking forward to working with you.

Copyright 2026 マチ塾

未来の表現：be going to ＋ 動詞(原形)

＝ ～する予定です

※ 「be going to ～」の「～」には動詞の原形が入ります
※ 前から決めていた予定や未来のスケジュールを表現するときに使います
※ 肯定文・疑問文・否定文のルールはbe動詞のルールに従います

私は、明日、英語を勉強する予定です。

I am going to study English tomorrow.

be動詞の例文

・彼は先生になる予定です。

He is going to be a teacher.

・彼は先生になる予定ですか。

Is he going to be a teacher?

Yes, he is.
No, he isn't.

・彼は先生になる予定ではありません。

He isn't going to be a teacher.

一般動詞の例文

・彼は明日英語を勉強する予定です。

He is going to study English tomorrow.

・彼は明日英語を勉強する予定ですか。

Is he going to study English tomorrow?

Yes, he is.
No, he isn't.

・彼は明日英語を勉強する予定ではありません。

He isn't going to study English tomorrow.

Copyright 2026 マチ塾

未来の表現：will ＋ 動詞(原形)

＝ ～するつもりです・～でしょう

※ willの後ろには動詞の原形が入ります
※ その場で決めた予定や予測、意思を表すときに使います
※ 肯定文・疑問文・否定文のルールは助動詞のルールに従います

私は、明日、英語を勉強するつもりです。

I will study English tomorrow.

be動詞の例文

・彼は先生になるでしょう。

He will be a teacher.

・彼は先生になるつもりですか。

Will he be a teacher?

Yes, he will.
No, he won't.
(will not)

・彼は先生になるつもりではありません。

He won't be a teacher.
(will not)

一般動詞の例文

・彼は明日英語を勉強するつもりです。

He will study English tomorrow.

・彼は明日英語を勉強するつもりですか。

Will he study English tomorrow?

Yes, he will.
No, he won't.
(will not)

・彼は明日英語を勉強するつもりではありません。

He won't study English tomorrow.
(will not)

Copyright 2026 マチ塾

接続詞：if ＋ S ＋ V

＝　もしSがVするなら / ～したら

※　「if ＋ 主語 ＋ 動詞」で「もし（主語）が（動詞）したら」という条件を表します
※　if節の中では、未来の内容も現在形で表します

もしあなたが忙しいなら　私はあなたを手伝います。

If you are busy, I will help you.

≒ I will help you if you are busy.

・もし何か質問があれば　私に聞いてください。

If you have any questions, please ask me.

・もし明日晴れたら　私は公園に行く予定です。

If it is sunny tomorrow, I will go to the park.

※未来の内容ですがif節の中では現在形で書きます

・もし朝食を食べなければ　お腹がすきますよ。

If you don’t eat breakfast, you will be hungry.

Copyright 2026 マチ塾

There is ~.
There are ~.

＝　～がある / ～がいる

※「～」にはモノやヒトが入ります
※「～」のモノやヒトが複数の場合は、be動詞は”are”を使います
※There is / are は初めて話題に出す不特定のものに使います

現在形

・テーブルの上にペンがあります。

There is a pen on the table.

・テーブルの上にペンがありますか。

Is there a pen on the table?

Yes, there is.
No, there isn’t.

・テーブルの上にペンはありません。

There isn’t a pen on the table.

過去形

・テーブルの上に２本のペンがありました。

There were two pens on the table.

・テーブルの上に２本のペンがありましたか。

Were there two pens on the table?

Yes, there were.
No, there weren’t.

・テーブルの上にペンは１本もありませんでした。

There weren’t any pens on the table.

※not＋any　で「１つも～ない」という意味になります

Copyright 2026 マチ塾

show ＋ A(ヒト) ＋ B(モノ)

＝ A(ヒト) に B(モノ) を見せる

※この形を作ることができる動詞は「相手にしてあげる系」の意味を持っていることが多いです
➡書き換える時に to を使う動詞：give / tell / show / teach / send / lend / write
➡書き換える時に for を使う動詞：make / buy / cook / get

彼女は　ケンに　彼女の教科書　を見せます。

She shows Ken her textbook.

≒ She shows her textbook to Ken.

・彼は　彼女に　英語　を教えます。

He teaches her English.

≒ He teaches English to her.

※相手がいる前提（直接何かを届ける系）動詞の時は、toを使うことが多いです

・ケンは　タカシに　手紙　を書きます。

Ken writes Takashi a letter.

≒ Ken writes a letter to Takashi.

・ケンは　マキに　新しいペン　を買う予定です。

Ken will buy Maki a new pen.

≒ Ken will buy a new pen for Maki.

※相手がいる前提ではない動詞の時は、forを使うことが多いです

Copyright 2026 マチ塾

不定詞のまとめ

＝　to ＋ 動詞(原形)

名詞的用法

～すること

主語 | 一般動詞 | 目的語

I like to play soccer.

主語 | be動詞 | 補語

My dream is to be a teacher.

主語 | be動詞 | 補語

To become a doctor is difficult.

副詞的用法

～するために

I go to the library to study English.

形容詞的用法

～するための、～するべき

I have something to eat.

He has a lot of homework to do today.

Copyright 2026 マチ塾

助動詞：must ＋ 動詞(原形)

＝　～しなければならない / ～にちがいない

※否定形のmustn’tは「～してはいけない」という禁止の意味になります
※助動詞のルール　➡　助動詞の後ろは「動詞の原形」が入ります

肯定文
～です

・あなたは　英語　を勉強しなければなりません。

You　must　study　English.
動詞の原形

疑問文
～ですか？

・あなたは　英語　を勉強しなければなりませんか。

Must　you　study　English?

Yes, I must.
No, I don’t have to.

否定文
～ではない

・あなたは　英語　を勉強してはいけません。

You　mustn’t　study　English.

≒　Don’t　study　English.

・ケンは　天才　です。

Ken　is　a　genius.

・ケンは　天才　にちがいない。

Ken　must　be　a　genius.

Copyright 2026 マチ塾

助動詞のまとめ

助動詞は「主語 ＋ 助動詞 ＋ 動詞(原形)」の形で使う

助動詞	意味	例文（一般動詞をつかった文）	例文（be動詞をつかった文）
must	～しなければならない ～にちがいない	He must study English. （彼は英語を勉強しなければならない。） He mustn't study English. （彼は英語を勉強してはいけない。）	The story must be true. （その話は真実にちがいない。）
should	～すべきだ ～なはずだ	He should study English. （彼は英語を勉強すべきだ。）	The story should be true. （その話は真実なはずだ。）
may	～してもよい ～かもしれない	He may use this pen. （彼はこのペンを使ってもよい。） May I use this pen? （私はこのペンを使ってもよいですか？）	The story may be true. （その話は真実かもしれない。）
can	～できる ～はありえない（否定形）	He can speak English. （彼は英語を話すことができる。）	The story can't be true. （その話が真実だなんてありえない。）
will	～するつもりだ ～でしょう	He will study English tomorrow. （彼は明日英語を勉強するつもりだ。）	He will be a teacher. （彼は教師になるでしょう。）

助動詞のまとめ：詳細編

助動詞は「主語 ＋ 助動詞 ＋ 動詞(原形)」の形で使う

Copyright 2026 マチ塾

助動詞	意味	例文（一般動詞をつかった文）	例文（be動詞をつかった文）
must	～しなければならない ～にちがいない	He must study English. （彼は英語を勉強しなければならない。） He mustn't study English. （彼は英語を勉強してはいけない。）	The story must be true. （その話は真実にちがいない。）
should	～すべきだ ～なはずだ	He should study English. （彼は英語を勉強すべきだ。）	The story should be true. （その話は真実なはずだ。）
may	～してもよい ～かもしれない	He may use this pen. （彼はこのペンを使ってもよい。） May I use this pen? （私がこのペンを使ってもよいですか？）	The story may be true. （その話は真実かもしれない。）
can	～できる ～はありえない（否定形）	He can speak English. （彼は英語を話すことができる。）	The story can't be true. （その話が真実だなんてありえない。）
will	～するつもりだ ～でしょう	He will study English tomorrow. （彼は明日英語を勉強するつもりだ。）	He will be a teacher. （彼は教師になるでしょう。）
shall	～（私が）しましょうか ～（一緒に）しませんか	Shall I open the window? （窓を開けましょうか？） Shall we have dinner together? （一緒に夕食を食べませんか？）	―
could	～できた ～していただけますか	I could ride a bicycle when I was a child. （私は子どものころ自転車に乗ることができた。） Could you open the door? （ドアを開けていただけますか？）	―
would	～していただけますか ～はいかがですか	Would you open the window? （窓を開けていただけますか？） Would you like a drink? （飲み物はいかがですか？）	―

Copyright 2026 マチ塾

have to ＋ 動詞(原形)　＝　～しなければならない

※否定形の don't have to ~ は「～する必要はない」という意味になります
※「have to ＋ 動詞の原形」で使います
※haveは一般動詞として扱います（三人称単数現在形のSが付くこともあります）

・ケンは　英語　を勉強しなければなりません。

肯定文
～です

Ken has to study English.
動詞の原形

・ケンは　英語　を勉強しなければなりませんか。

疑問文
～ですか？

Does Ken have to study English?

Yes, he does.
No, he doesn't.

・ケンは　英語　を勉強する必要はありません。

否定文
～ではない

Ken doesn't have to study English.

※mustとhave toの違いについて

・must ~ ＝ 話し手が「必要だ」と強く考えている
・have to ~ ＝ 状況や規則などによって必要になる

Copyright 2026 マチ塾

It is ~ for … to ~

＝　～することは …にとって ～だ

※toの後ろは「動詞の原形」を入れます
※”It is ~”だからといって「それは～だ」と訳さないように注意しましょう

・英語を勉強することは　ケンにとって　重要です。

肯定文
～です

It is important for Ken to study English.

≒ To study English is important for Ken.

※文法的にはこのように書き換えることもできます

・英語を勉強することは　ケンにとって　重要ですか。

疑問文
～ですか？

Is it important for Ken to study English?

Yes, it is.
No, it’s not.

・英語を勉強することは　ケンにとって　重要ではありません。

否定文
～ではない

It is not important for Ken to study English.

Copyright 2026 マチ塾

不定詞（副詞的用法）：to ＋ 動詞(原形)

＝ ～するために

・彼女は　ケンを助けるために　ここにいます。

She is here to help Ken.

・私は　海外旅行をするために　英語を勉強します。

I study English to travel abroad.

・私は　英語の本を読むために　英語を勉強します。

I study English to read English books.

Copyright 2026 マチ塾

接続詞：because ＋ S ＋ V

＝ SがVするので

・ケンは 日本の文化が好きなので 日本語を勉強します。
理由・原因

Ken studies Japanese because he likes Japanese culture.

≒ Because Ken likes Japanese culture, he studies Japanese.

・風邪をひいていたので 私は学校に行きませんでした。
理由・原因

I didn't go to school because I had a cold.

・このアプリが便利なので 私はこのアプリを使っています。
理由・原因

I use this app because it is useful.

Copyright 2026 マチ塾

接続詞のまとめ

＝　接続詞は文と文をつなぐ役割がある

時・条件を表す＝ when ~, if ~

～のとき、もし～なら

私は朝食を食べるとき　牛乳を飲みます。

I drink milk when I have breakfast.

もし明日晴れたら　私は公園に行くつもりです。

I will go to the park if it is sunny tomorrow.

※if節、when節の中は未来の内容も現在形で表す

理由を表す ＝ because ~

～なので、なぜなら～

私は英語の先生になりたいので　私は英語を勉強します。

I study English because I want to be an English teacher.

具体的な内容を表す ＝ that ~

～ということ、～だと

※接続詞のthatは省略されることが多い

私は　彼は良い先生だ　と思う。

I think (that) he is a good teacher.

私は　ケンがエリのことを好きだということ　を知っている。

I know (that) Ken likes Eri.

Copyright 2026 マチ塾

不定詞（感情の原因）：to ＋ 動詞(原形)

＝ ～して / ～なので

・私は　あなたに会えて　うれしいです。
理由・原因

I am glad to meet you.

・私は　その知らせを聞いて　悲しいです。
理由・原因

I am sad to hear the news.

Copyright 2026 マチ塾

比較級

＝　もっと～ / さらに～

最上級

＝　もっとも～ / いちばん～

比較級・最上級の作り方	原級	比較級	最上級
単語の末尾にer, estをつける	small fast long	smaller faster longer	the smallest the fastest the longest
eで終わる単語は、 r, stをつける	nice large	nicer larger	the nicest the largest
子音を重ねて er, estをつける	big	bigger	the biggest
子音字＋yで終わる単語は yをiに変えて er, estをつける	easy happy early	easier happier earlier	the easiest the happiest the earliest
不規則な変化	good・well bad	better worse	the best the worst
つづりが長い単語は more, the mostをつける	popular famous difficult	more popular more famous more difficult	the most popular the most famous the most difficult

※形容詞の最上級では”the”をつけますが、副詞の最上級では”the”をつけないこともあります

比較級（ ~er ）と最上級（ the ~est）の作り方

Copyright 2026 マチ塾

原級

彼は　速く　走ることができる。　He can run fast.

比較級

彼は　もっと速く　走ることができる。　He can run faster.

彼は　ケンよりも　もっと速く　走ることができる。　He can run faster than Ken.

※thanは「〜よりも」という意味の単語

最上級

彼は　日本で　いちばん速く　走ることができる。　He can run the fastest in Japan.

彼は　私の家族で　いちばん速く　走ることができる。　He can run the fastest in my family.

※場所や集団を表すときは「in」を使う

彼は　5人の中で　いちばん速く　走ることができる。　He can run the fastest of five.

※具体的な数を表すときは「of」を使う

比較級（~er）と最上級（the ~est）の例文

Copyright 2026 マチ塾

彼は早く起きます。	He gets up early.
彼はケンより早く起きます。	He gets up earlier than Ken.
彼は私の家族の中で一番早く起きます。	He gets up the earliest in my family.

be動詞の例文

・彼は背が高いです。

He is tall.

・彼はケンより背が高いです。

He is taller than Ken.

・彼は５人の中で一番背が高いです。

He is the tallest of the five.

一般動詞の例文

・彼は速く走ることができる。

He can run fast.

・彼はケンよりも速く走ることができる。

He can run faster than Ken.

・彼はクラスで一番速く走ることができる。

He can run the fastest in my class.

比較級（more ~）と最上級（the most ~）の例文

Copyright 2026 マチ塾

野球は人気です。	Baseball is popular.
野球はサッカーより人気です。	Baseball is more popular than soccer.
私のクラスでは野球は最も人気です。	Baseball is the most popular in my class.

be動詞の例文

・彼は有名です。

He is famous.

・彼はケンより有名です。

He is more famous than Ken.

・彼は日本で一番有名です。

He is the most famous in Japan.

一般動詞の例文

・彼女は流ちょうに英語を話します。

She speaks English fluently.

・彼女はケンよりも流ちょうに英語を話します。

She speaks English more fluently than Ken.

・彼女は私のクラスで一番流ちょうに英語を話します。

She speaks English the most fluently in my class.

Copyright 2026 マチ塾

as ～ as …

＝　…と同じくらい～だ

※否定文で使う場合は「…ほど～ではない」という意味になり、比較級で書き換えることができます

・ケンはトムと同じくらい背が高い。

Ken is as tall as Tom.

・ケンはトムほど背が高くない。

Ken isn't as tall as Tom.

≒　トムはケンよりも背が高い。

≒　Tom is taller than Ken.

be動詞の例文

・トムは有名です。

Tom is famous.

・トムはケンと同じくらい有名です。

Tom is as famous as Ken.

・トムはケンほど有名ではありません。

Tom isn't as famous as Ken.

≒ Ken is more famous than Tom.

一般動詞の例文

・トムは速く走ることができます。

Tom can run fast.

・トムはケンと同じくらい速く走ることができます。

Tom can run as fast as Ken.

・トムはケンほど速く走ることができません。

Tom can't run as fast as Ken.

≒ Ken can run faster than Tom.

Copyright 2026 マチ塾

want ＋ 人 ＋ to＋動詞(原形)	＝ 人に～してほしいと思う
tell ＋ 人 ＋ to＋動詞(原形)	＝ 人に～するように言う
ask ＋ 人 ＋ to＋動詞(原形)	＝ 人に～するように頼む

※toの後ろは「動詞の原形」を入れます
※「人」に代名詞を入れる場合は目的格が入ります

・ケンは　彼女に　英語を勉強してほしい　と思っています。

Ken　wants　her　to　study　English.

・ケンは　彼女に　英語を勉強するよう　に言いました。

Ken　told　her　to　study　English.

・ケンは　彼女に　ドアを開けるよう　に頼みました。

Ken　asked　her　to　open　the　door.

Copyright 2026 マチ塾

make ＋ A(人・モノ) ＋ B(状態)	＝ A(人・モノ)を B(状態)にする
call ＋ A(人・モノ) ＋ B(名前)	＝ A(人・モノ)を B(名前)と呼ぶ

・そのニュース（知らせ）は　彼女を悲しませました。

The news made her sad.

・サッカーの試合を見ることは　彼をワクワクさせます。

Watching soccer games makes him excited.

・読書をすると　彼は眠たくなります。

Reading books makes him sleepy.

・私は　彼のことをケンと呼びます。

I call him Ken.

・私は　彼の犬をクロと呼びます。

I call his dog Kuro.

Copyright 2026 マチ塾

受け身：be動詞＋過去分詞形

＝　～される / ～されている

・私の母は　この部屋　を掃除します。　　My　mother　cleans　this　room.

※主語を入れ替えて
「受け身」の文に書きかえます

・この部屋は　私の母によって　掃除されます。　　This　room　is　cleaned　by　my　mother.

※byは「～によって」という意味の単語

※時制を過去にかえてみます

※be動詞が過去形になります

・この部屋は　私の母によって　掃除されました。　　This　room　was　cleaned　by　my　mother.

肯定文
～です

英語は　多くの人に　話されています。　　English　is　spoken　by　many　people.

疑問文
～ですか？

英語は　多くの人に　話されていますか。　　Is　English　spoken　by　many　people?

Yes,　it　is.
No,　it　isn't.

否定文
～ではない

英語は　多くの人に　話されていません。　　English　isn't　spoken　by　many　people.

肯定文・疑問文・否定文のルールまとめ

Copyright 2026 マチ塾

		be動詞を使った文		一般動詞を使った文		canを使った文
		「＝」の役割	「存在」を表す	Do	Does	can
現在形	肯定文	あなたは幸せです。 You are happy.	彼は公園にいます。 He is in the park.	あなたはサッカーが好きです。 You like soccer.	彼はサッカーが好きです。 He likes soccer.	彼はピアノを弾くことができます。 He can play the piano.
	疑問文	あなたは幸せですか？ Are you happy? Yes, I am. No, I'm not.	彼は公園にいますか？ Is he in the park? Yes, he is. No, he isn't.	あなたはサッカーが好きですか？ Do you like soccer? Yes, I do. No, I don't.	彼はサッカーが好きですか？ Does he like soccer? Yes, he does. No, he doesn't.	彼はピアノを弾くことができますか？ Can he play the piano? Yes, he can. No, he can't.
	否定文	あなたは幸せではありません。 You aren't happy.	彼は公園にはいません。 He isn't in the park.	あなたはサッカーが好きではありません。 You don't like soccer.	彼はサッカーが好きではありません。 He doesn't like soccer.	彼はピアノを弾くことができません。 He can't play the piano.
過去形	肯定文	あなたは幸せでした。 You were happy.	彼は公園にいました。 He was in the park.	あなたはサッカーが好きでした。 You liked soccer.	彼はサッカーが好きでした。 He liked soccer.	
	疑問文	あなたは幸せでしたか？ Were you happy? Yes, I was. No, I wasn't.	彼は公園にいましたか？ Was he in the park? Yes, he was. No, he wasn't.	あなたはサッカーが好きでしたか？ Did you like soccer? Yes, I did. No, I didn't.	彼はサッカーが好きでしたか？ Did he like soccer? Yes, he did. No, he didn't.	
	否定文	あなたは幸せではありませんでした。 You weren't happy.	彼は公園にいませんでした。 He wasn't in the park.	あなたはサッカーが好きではありませんでした。 You didn't like soccer.	彼はサッカーが好きではありませんでした。 He didn't like soccer.	

肯定文・疑問文・否定文のルールまとめ（練習用）

Copyright 2026 マチ塾

		be動詞を使った文		一般動詞を使った文		canを使った文
		「＝」の役割	「存在」を表す	Do	Does	can
現在形	肯定文	あなたは幸せです。	彼は公園にいます。	あなたはサッカーが好きです。	彼はサッカーが好きです。	彼はピアノを弾くことができます。
	疑問文	あなたは幸せですか？	彼は公園にいますか？	あなたはサッカーが好きですか？	彼はサッカーが好きですか？	彼はピアノを弾くことができますか？
	否定文	あなたは幸せではありません。	彼は公園にはいません。	あなたはサッカーが好きではありません。	彼はサッカーが好きではありません。	彼はピアノを弾くことができません。
過去形	肯定文	あなたは幸せでした。	彼は公園にいました。	あなたはサッカーが好きでした。	彼はサッカーが好きでした。	
	疑問文	あなたは幸せでしたか？	彼は公園にいましたか？	あなたはサッカーが好きでしたか？	彼はサッカーが好きでしたか？	
	否定文	あなたは幸せではありませんでした。	彼は公園にいませんでした。	あなたはサッカーが好きではありませんでした。	彼はサッカーが好きではありませんでした。	

Copyright 2026 マチ塾

代名詞

＝　名詞の代わりに使うことば

	単数				複数			
	主格	所有格	目的格	所有代名詞	主格	所有格	目的格	所有代名詞
一人称	I 私は	my 私の	me 私に/を	mine 私のもの	we 私たちは	our 私たちの	us 私たちに/を	ours 私たちのもの
二人称	you あなたは	your あなたの	you あなたに/を	yours あなたのもの	you あなたたちは	your あなたたちの	you あなたたちに/を	yours あなたたちのもの
三人称	he 彼は	his 彼の	him 彼に/を	his 彼のもの	they 彼らは	their 彼らの	them 彼らに/を	theirs 彼らのもの
三人称	she 彼女は	her 彼女の	her 彼女に/を	hers 彼女のもの	they 彼女らは	their 彼女らの	them 彼女らに/を	theirs 彼女らのもの
三人称	it それは	its それの	it それに/を	—	they それらは	their それらの	them それらに/を	theirs それらのもの

itは「時刻・天気・曜日」を表すときにも使います（このitは「それ」と訳しません）

・今何時ですか。　What time is it?　— It's seven.

・今日は雨です。　It's rainy today.

・今日は月曜日です。　It's Monday today.

動詞の活用（不規則）

Copyright 2026 マチ塾

原形	過去形	過去分詞	意味
be	was/were	been	～です、～がある
become	became	become	～になる
begin	began	begun	始まる
break	broke	broken	～を壊す
bring	brought	brought	～を持って来る
build	built	built	～を建てる
buy	bought	bought	～を買う
catch	caught	caught	～を捕まえる
choose	chose	chosen	～を選ぶ
come	came	come	来る
cut	cut	cut	～を切る
draw	drew	drawn	～を描く
eat	ate	eaten	～を食べる
fall	fell	fallen	落ちる
feel	felt	felt	～を感じる
find	found	found	～を見つける
forget	forgot	forgotten	～を忘れる
get	got	gotten	～を手に入れる
give	gave	given	～を与える
go	went	gone	行く
grow	grew	grown	成長する
have	had	had	～を持つ
hear	heard	heard	～を聞く
hold	held	held	～をつかむ、持つ
keep	kept	kept	～を保つ
know	knew	known	～を知る
leave	left	left	出発する/置いてくる

原形	過去形	過去分詞	意味
let	let	let	～させる
lose	lost	lost	～を失う
make	made	made	～を作る
mean	meant	meant	～を意味する
meet	met	met	～に会う
put	put	put	～を置く
read	read	read	～を読む
ride	rode	ridden	～に乗る
run	ran	run	走る
say	said	said	言う
see	saw	seen	見る
sell	sold	sold	～を売る
send	sent	sent	～を送る
sing	sang	sung	歌う
sit	sat	sat	座る
sleep	slept	slept	寝る
speak	spoke	spoken	～を話す
spend	spent	spent	～を費やす
stand	stood	stood	立つ
swim	swam	swun	泳ぐ
take	took	taken	～を取る
teach	taught	taught	～を教える
tell	told	told	～に伝える
think	thought	thought	～と思う
wear	wore	worn	～を着る
write	wrote	written	～を書く